



九重町

商工観光・自然環境課

九重町地球温暖化対策委員会における活動

①小中学生を対象としたセミナーの開催

毎年、町内の小中学生を対象にしたセミナーを開催しています。身のまわりの地球温暖化問題を学ぶと共に、ふるさとの素晴らしい自然環境を再認識しながら、自分達ができる取り組みを実践することが目的です。



九重町地球温暖化対策における環境教育セミナー

平成28年度は、地球温暖化と地元産業である林業をテーマに学習しました。

②町内外における再生可能エネルギー視察研修

再生可能エネルギーの先進地視察研修を行うことにより、町内でも実現可能な取り組みの調査・検討をしています。

役場職員から成る環境推進委員会における活動

①温室効果ガス排出量の調査

九重町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、庁舎から出る温室効果ガス排出量の調査、削減にむけた取り組みの推進をしています。

②九重町地球温暖化対策委員会主催の学習会に参加

九重町地球温暖化対策委員会の学習会に参加しながら、共に地球温暖化に関する知見を深めています。

公共施設における取り組み

①九重町役場庁舎内における取り組み

エアコン使用時の温度管理、昼食時消灯や不要な電化製品の使用を控えるなど、使用電力削減への取り組みをしています。また、健康診断の待ち時間を利用してごみの分別方法についての説明や、清掃活動も実施しています。

②照明のLED化

③公用車のハイブリッド化

④公共施設における自然エネルギーの活用

このえ緑陽中学校：出力30kWの太陽光パネル設置・雨水を散水やトイレに使用・空気や太陽光を利用して照明や空調の使用抑制
町営住宅：屋根に太陽光パネルを設置

菅原バイナリー発電所の運転開始

平成27年6月より、町が所有している井戸を活用した5,000kWの地熱バイナリー発電所が運転を開始しています。これにより約8,300世帯分の電力を供給することができます。

広報活動

『広報このえ』・ケーブルテレビ『人権・健康・環境カレンダー』を利用して、家庭で出来る節電対策などについて広報活動を行い、地球温暖化問題についての意識向上を図っています。

リサイクルへの取り組み

①生ごみコンポスト購入に対する補助

②ペットボトルキャップの回収

③小型家電の回収

④『九重町石けん工房』での廃油石けんづくり

地球温暖化問題を正しく知り、身近な環境に目を向けることが対策への第一歩です。九重町では、自然からの恵みを活かし、共有しながら、次世代へと続く持続可能な取り組みを進めています。



杵築市

生活環境課

1. 温室効果ガス排出抑制の取り組み

杵築市では平成29年に「杵築市地球温暖化対策実行計画」をつくり、平成33年度末に、市役所関連施設全体の二酸化炭素排出量を5%削減することを目標としています。そのために冷暖房温度の適正管理、照明機器やOA機器の適正使用、省エネ機器の導入を行い、エネルギー使用量を減らすよう努力しています。

2. 緑のカーテンづくりの推進

緑のカーテンは、ツル性植物の特性を利用した「自然のすだれ」です。水分を含む緑の植物は日光が当たると蒸散作用が活発になって葉の表面の温度上昇を抑えるため、室内温度が上がりにくくなります。

杵築市では、自宅や公民館、また店舗や事業所で緑のカーテンづくりに取り組む方へツル性植物の種子を無料配付し、植物の成長を楽しみながら地球温暖化防止となるライフスタイルの実践を進めています。

3. 生ごみ処理機使用の推進

家庭から出される生ごみは、水分を多く含み、焼却するために多くのエネルギーが必要となります。

杵築市では、生ごみを堆肥などにする「生ごみ処理機」を購入する市民の方へ補助金を交付し、生ごみ処理機使用の推進を進めています。

4. 食用廃油再生燃料化（BDF）事業の取り組み

杵築市では、食用廃油再生燃料化（BDF）事業に取り組んでおり、地区公民館等で食用廃油を回収しています。回収された食用廃油は、精製されバイオディーゼルの燃料となります。食用廃油を持ち込んでくれた市民の方にはごみ袋を配布しています。

5. 環境教育の推進

地球温暖化対策や環境保全の大切さを次世代を担う子どもたちに学んでもらうために、環境学習の推進を行っています。今年度は、杵築市小学生環境フォーラム「八坂川環境学習」を開催し、参加した小学生は、八坂川源流や河口干潟で環境について学びました。

